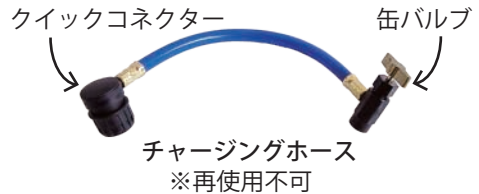


#325 スーパーシール (134a)



#325 スーパーシール



【使用前の注意！】

- スーパーシールには金属部からのガス漏れを止める成分と、ゴム製シールやガスケットの接続部からのガス漏れをシールする成分両方が入っています。
もしガスが2週間以内に完全に漏れてしまうような大きなガス漏れはエアコンシステム部品の交換が必要になります。
- レシーバードライヤー(リキッドタンク)に水分が溜まっている車は事前に交換する必要が有ります。
スーパーシールは水分と反応して凝固し、凝固が進むとタンクが詰まった状態になり高圧側の圧力が異常に高くなります。この現象が現れたら直ちにタンクを交換してください。
- スーパーシールはコンプレッサーの回転部分のシールからのガス漏れは修復出来ません。コンプレッサーの回転部分のシールからのガス漏れが起きている状態でスーパーシールを使うと、シールから漏れ出たスーパーシールが固まりコンプレッサーがロックしたり回転部分のベアリングが焼き付きを起こす場合が有ります。
- コンプレッサーオイルが不足した状態でスーパーシールを使用しないで下さい。オイルの粘度が上昇してコンプレッサーの回転が重くなり、その結果エアコンシステムに障害が起きる場合が有ります。
- スーパーシールの注入には、エアコンシステムが動いている状態で行い必ず低圧バルブから注入してください。
- ★ガス漏れの原因・箇所・内容により効果が得られない場合があります。
トラブルを防ぐ為には、正規修理をお勧めしますが、やむを得ずスーパーシールをご使用の際は、以上の点に注意して頂くと同時に、お客様に説明し了承を得た上でご使用下さい。

《ガス漏れの状態を調べるテスト方法》※スーパーシール使用前に必ず行って下さい。

真空ポンプで高圧 / 低圧ポートから約 10 分間真空引きをし、低圧ゲージの目盛りが -0.1Mpa 又は -75cmHg、-30inHg に達したら高圧 / 低圧バルブを閉じて下さい。

この状態で 5 分間放置し、ゲージの目盛を確認し -0.085Mpa 又は -63.5cmHg、-25.4inHg 以下に負圧を保てない場合は、漏れ部に亀裂又は隙間が大きすぎてスーパーシールで修復出来ない場合が有ります。

【注入作業手順】

- ①ガスが不足した状態でガス圧が 0.2Mpa(2.0kg/ m²、1.4PSI) 以上ある時に作業可能です。(ガス残留圧 0.2Mpa(2.0kg/ m²、1.4PSI) 以下の場合には真空引きから行います。) 満タンの状態の場合は 85cc のガスをフロンガス回収機にて抜いて下さい。

真空引きから作業する場合は、真空引きが終わったらフロンガスを 1 缶 (200g 又は 250g) をシステム内に注入します。これはコンプレッサーの空回しを防ぐ圧力センサーを解除する為です。

- ②キットに入っているチャージングホースの缶バルブのハンドルを反時計回りに回し、バルブの缶に穴を開ける針が見えなくなる様にセットします。
- ※これにより誤って缶容器に穴が開いて思わぬ事故を未然に防ぎます。お手持ちのマニホールドゲージやチャージングホースは絶対に使用しないで下さい。セットに入っている専用のチャージングホースのみお使い下さい。(シール成分がホース内に残ってしまうため。)
- ③スーパーシール缶容器をよく振ってから、チャージングホースの缶バルブを取り付けます。
- ※取り付けネジがプラスチック製なので、あまり強く缶に締め付けると、破損して使用できなくなる恐れがあります。
- ④車の低圧ポートの保護キャップを外し、チャージングホースのクイックコネクタをバルブに接続して下さい。クイックコネクタ外側のリングをホース側に引っ張りながらバルブに押し込み、確実に接続されているかを確認します。
- ※絶対に高圧バルブに接続しないようにお願いします。圧力で缶容器が破裂して大怪我の恐れが有り大変危険です。
- ⑤エンジンを始動して、エアコンを ON にして下さい。(風量は MAX, 内気循環にして下さい。)
- ⑥缶バルブのハンドルを時計回りに回しバルブの針で缶に穴を開けます。
- ⑦スーパーシールが缶から出てくる音が聞こえるまで、バルブのハンドルを反時計回りに戻します。
- ⑧缶の中身のスーパーシールが空になるまで、缶を逆さまにしておきます。空になったら低圧ポートからチャージングホースを外します。
- チャージングホースのバルブを缶に取り付けても危険のないくらい針が見えなくなるまでハンドルを反時計回りに回します。
- ⑨スーパーシールの残留物がサービスポートの穴を塞ぐのを妨げるため、エアコンのシステム内に直ちに、R134a のフロンガスをお手持ちのチャージングホースを使って注入します。(付属のホースは使用しないで下さい。) 作業が終わったら「スーパーシール注入剤」のラベルを作り車の見易い場所に貼る事をお勧めします。
- ⑩エアコンのシステム内に必要な分だけフロンガスを注入した後、スーパーシールとフロンガスが十分に循環するように約 15 ~ 30 分間エアコンのシステムを作動させます。大きな漏れが有る場合は当分の間、毎日エアコンを運転し漏れが直る迄繰り返します。もし漏れのためガスが不足したら不足分のガスだけを再充填して下さい。
- ※使用后、付属のチャージングホースはホース内に溶剤が残っている可能性があるので廃棄してください。

【注意】

- 子供を作業場に入れないようにして下さい。
- 使用法に記載されている指示のみに従って下さい。
- 空になった容器とチャージングホースは必ず処分して下さい。
- 液体が目に入った際は直ちに 15 分以上大量の水で洗い流して、病院で診察を受けて下さい。
- 長時間、液体が肌に直接接触れることは大変危険ですので絶対にしないで下さい。
- 作業する際には目を保護するものをご使用下さい。
- エアコンガスの回収は、必ずフロンガス回収機を使用して下さい。